

ご挨拶

3

序文 「裂」所感 きれぎれに……

小笠原小枝

7

はじめに ようこそ古裂鑑賞の世界へ

佐藤留実

10

I 伝承のはじまり 舶来染織とその需要

Japan's Aesthetics of Textile Reuse

13

法衣・芸能装束

14

墨跡の表具

21

唐絵と渡来織物

26

茶の湯と名物裂

40

茶の湯と更紗

75

煎茶と更紗

87

II 古裂鑑賞の世界

From Loom to Heirloom

99

大名家・公家の手鑑

104

近現代の手鑑鑑賞

192

裂簞笥と解き袋

202

名物裂文様の意匠化と影響

210

古裂ブームと江戸時代の出版物

222

近代に表装された絵巻と古筆の断簡

226

研究ノート

金襴をまとう絵画

下山來夏

27

青花磁器と金襴にみられる花唐草文

菅沢そわか

52

古染付と舶来染織の文様

林克彦

70

名物裂考

佐藤留実

83

裂手鑑の世界

佐藤留実

100

『古織紋鑑』に見るモール裂

阿部克彦

132

名物裂を取り込んだ琳派

リチャード・L・ウィルソン

214

Column

珠光緞子

小笠原小枝

43

裂の愉しみ

小笠原小枝

89

資料編

本書関連用語解説

231

名物裂名称と出典一覧

233

作品目録

250

本書関連参考図書

254

本展ご協力者

255